

1. 議 事

(1) 子ども・子育て支援事業計画の進行管理

令和2年度点検・評価結果報告書について、委員に各事業に対する意見を求めました。

<各事業に対する委員意見>

1. 子どものための教育・保育給付

事業名	子どものための教育・保育給付(幼児期の教育・保育)
委員意見	<p>保留児童の数が年々増加している事が気になります。既に定員の拡大や保育所等の新設など努力していらっしゃいますが、女性の社会参加を後押しするためにも保育環境のさらなる充実を期待します。</p>
	<p>保育の需要に対応する施策を推進してくださっていることを評価します。子育て家庭の様々なニーズは量の確保に加え、子ども一人ひとりの特徴に合わせた個別の支援を含む教育・保育の必要でもあると考えます。集団保育の中での子どもの育ちを支える一層の支援が、従前に比べ需要も高くなっています。</p>
	<p>目標を明確に定め実施、目標達成された事は素晴らしいですね。</p>
	<p>人材不足が深刻な中、教育・保育の質の向上のため、職員の確保を積極的に。</p>
	<p>保育所等の増設により、引き続き待機児童ゼロを継続されているが、人口減少の影響下にある中で、保育所の過剰時代に突入した場合、経営が悪化する事業者が増えることが予想される。今後は既存施設の活用方法も検討が必要かと思うが、引き続き保育需要の動向を注視しながら、提供体制の確保、保育士の質の担保を図ることが重要であると思います。</p>
	<p>・数値は、計画に沿った取り組みがなされた結果が得られています。 ・しかし数値では評価が難しい保育園の増加に伴う、保育士の質の向上に対する取り組みや評価も記載いただくと、より具体的に評価できると思います。 ・待機児童はゼロが達成されていますが、小児慢性特定疾病を有する児が入所を希望した場合、保護者自身が1件1件保育園に入園の可否を問い合わせなければならず、疲弊している事例も少なくありません。 ・今後の方向性に記載があるように「家庭の様々なニーズ…」の中に、基礎疾患がある子どもも含めて入所相談を受ける体制が整備されることをお願いしたいです。</p>
	<p>6年連続の待機児童ゼロは素晴らしい。他市のお母さんたちからうらやましがられています。多様化する子育て家庭のニーズにできる限りの対応を。</p>
	<p>「待機・保留児童の状況」で、待機児童からの除外者が増加しているのはどのような理由によるものでしょうか。参考までにお伺いしたく存じます。</p>
	<p>【事務局より】 厚生労働省の定義に基づく待機児童から除外される児童の要件としては、主に次のものが挙げられます。 ①現に求職活動を行っておらず、保育の必要性が認められない世帯 ②市が運営費支援等を行う認定保育施設を利用している世帯 ③企業主導型保育事業所を利用している世帯 ④一時預かり事業、又は預かり保育について補助を受けている幼稚園を利用している世帯 ⑤他に利用可能な保育所等の情報提供を行ったに関わらず特定の保育所等を希望し、待機している世帯 令和3年4月1日においては前年と比較し、①は9名、②は2名、③は13名が減少している一方、④は3名、⑤は89名が増加しています。 なお、⑤が大幅に増加したのは、利用可能な保育所等の情報提供を市が行ったものの、新型コロナウイルスの感染を回避するために育休からの復職を繰り延べ、希望園とは異なる保育所等への入所を見送った世帯が増加したことによると考えられます。</p>
	<p>共働き世帯やひとり親世帯の人たちでも、安心して子育てができるように、これからも待機児童数ゼロを維持できるようにお願いしたい。</p>
<p>待機児童からの除外者(保留児童)というのは、どういう方のことなのでしょう。 保育所をニーズに合わせてどんどん新設し待機児童ゼロとするのは、子育て世帯としてありがたいことだと思いつつ同時に、そんなにどんどん増やして働いてくださる方側(人数確保や働きやすい環境なのか、質など)は大丈夫なのかと心配にもなります。幼稚園も信念をもって幼稚園として運営をしてくださっているので、こども園への移行を推進する前に中身・内容・教育の質にももっと目を向けながら政策を進めていただけるといいのかなと感じます(このごろ、働いている方のお話をうかがう機会が多くて)。</p>	
<p>【事務局より】 待機児童からの除外者(保留児童)については、No.8の回答のとおりです。</p>	
<p>大和市は他市と違い、すくすく子育て課の窓口にも母子手帳を受け取りに来る方が増えています。なかなか予測を立てるのは難しいことですが、6年連続待機児童数ゼロをキープし続けていることは素晴らしいです。このまま子どものための教育・保育給付を続けてください。</p>	

待機児童数0連続6年は素晴らしい実績ですが、ここ3年にわたり保留児童数が増えてきているのが気になります。保留の理由を開示して頂けたら意見も述べやすいと思います。

施設数も増えてきており、保育の質、均一性を確保するのが難しいと思われます。開設後の施設の評価はどのように行われているのでしょうか。施設毎の保育士の離職率も参考になると思います。

【事務局より】

待機児童からの除外者(保留児童)については、No.8の回答のとおりです。

また、施設開所後の評価につきましては、県の条例により定期的に外部の者による評価を受けて、その結果を公表し、常にその改善を図るよう努めることとされています。また、定期的に県と市による監査も実施しており、必要に応じて助言・指導を行う中で、第三者評価の受審の有無についても確認しております。

6年連続待機児童数ゼロを達成していることは素晴らしい。高く評価できることだと思います。コロナ禍において感染症対策を続けながら、教育・保育にあたっていらっしゃる現場の皆様の緊張・ストレスの緩和をケアすることは、子どもたちの心身ともに健やかに育つ上では欠かせないケアであり、保育の質にもつながることだと思います。

大和市は、待機児童解消に向けて非常に努力してきた結果、待機児童0となっていることは高く評価できる。今後、定員割れ等による問題が発生することが懸念される。こうした問題をどうするか早目に考えていくことが必要だと思う。

特定地域型保育事業の中には大和市では行っていない事業もあるようなので、今後、様々な事業ができ、保育の幅が広がってほしいと思いました。

2. 地域子ども・子育て支援事業

事業名	①利用者支援事業
委員意見	<p>コロナウイルス感染症が心配される中で、届け出方法や母子手帳の交付方法など臨機応変にご対応されていました。出産後に養育支援が必要となる母子への継続的な支援がなされることに感謝します。早期に手を打つことで、不幸な母子を作らないことに貢献できていると思います。</p>
	<p>コロナ禍において、様々な取り組みをもって支えてくださったことについては、感謝です。不安の上に不安が積み重なり、外へ出ないご家庭もあったことでしょうか。家にいることで安心して過ごせるならばそれでよいことですが、一方、子どもたちがどんな生活をしてきたのか、気になるところです。アクションを起こせない家庭にどのような取り組みができるのでしょうか。</p>
	<p>【事務局より】 外出がしにくい状況の中で親子ともどもストレスを抱えた家庭からの相談が多くありました。「夜寝ない」、「食事をなかなか食べない」等の相談があれば、生活の様子を聞いたうえで対応方法をともに考えています。電話での相談などができないアクションを起こせない家庭などは、乳幼児健診などの機会を捉え、お子さんの様子や生活状況、育児するうえでのストレスなど、丁寧に聞き取り対応しています。なお、未受診の家庭については、保健師が訪問等で全件の状況を確認しております。</p>
	<p>保育コンシェルジュの設置は潜在化している保育の悩み、問題を顕在化するのに有効であると思います。健診時にPRするなどの後方支援をお願いします。</p>
	<p>コロナ禍の子育ては不安がたくさんあると思います。ますますの支援を期待します。</p>
	<p>・郵送による妊娠届出の受付や母子健康手帳の交付、電話による状況把握等、感染防止への工夫が記載されています。 ・相談内容はどのような相談が多いのか記載いただき、コロナ禍だからこその対応についても検討していただきたいです。</p>
	<p>【事務局より】 妊娠期の相談では、「産後のサポートしてくれる人がいない」、「コロナ禍で里帰りができない」といった相談が多く聞かれました。親族との調整やファミリーサポートセンターの利用などを勧めるとともに、産科医療機関とも連携し、継続的な支援に努めました。 産科医療機関や市主催の「母親父親教室」が中止となっていることでの妊娠から出産にかけての漠然とした不安については、プレママ・パパ教室の内容について、Youtubeによる動画配信により、不安の解消や知識の普及啓発に努めました。 乳幼児のお子さんでは、外出などができないために「生活リズムが乱れていること」や「食事がすすまない」といった電話相談が多く、個々の家庭の状況に応じた対応方法を伝えています。また、離乳食教室が中止になっていることから、電話相談に応じるとともに、離乳食を始めるときのポイントや作り方などを紹介した資料を市ホームページからダウンロードできるよう工夫を図り対応しています。</p>
	<p>コロナ禍で雑多な対応にせまられたことと思われます。有事の時の相談窓口は不安を取り除いてくれる。切れ目のない支援の継続を。</p>
	<p>コロナ禍での養育者を対象とした諸教室の中止の影響はそれなりにあったものと推測します。難しい点ではありますが、代替の方法を検討する余地はあるように思います。</p>
	<p>【事務局より】 「プレママ・パパ教室」、「離乳食教室」など、コロナ禍では多くの教室が中止となりました。そのようななか、妊婦の方や離乳期にある乳児がいる家庭を対象として、動画でのプレママ・パパ教室の配信を行うとともに、「離乳食の始め方」の資料を市ホームページからダウンロードできるようにするなど、不安の解消や知識の普及啓発に努めており、今後もよりよい方法を検討してまいります。</p>
	<p>引き続き、ワンストップサービスの提供を多くの人に知ってもらえるよう周知に努めてほしい。</p>
	<p>とても充実していて感謝しています。</p>
<p>コロナ禍に対応した対策でお母さんの声を聞ける事業が大和市全体で行われている。基本型・特定型(保育コンシェルジュ)の実施場所ごとの延べ人数を出して頂きたい。</p>	
<p>【事務局より】 令和2年度の保育コンシェルジュの実施場所ごとの延べ人数は以下の通りです。 ・保健福祉センター2階(ほいく課内) 延 467人 ・子育て支援センター 延 94人 ・大和市子育て支援施設きらきらぼし 延 323人</p>	
<p>母子保健はface to faceの信頼関係の構築が基本なので、郵送による母子手帳交付は残念です。出来るだけ早期の保健師の訪問をお願いします。</p>	
<p>【事務局より】 ご意見を頂いたように、面接による信頼関係の構築は、切れ目のない支援を行ううえで大切なものです。そのため、コロナ禍は続いていますが、今年度から妊娠届出の受付、母子健康手帳の郵送交付については取りやめ、全数面接を行っています。出産後に養育上支援を要する妊婦の方などには、必要に応じて保健師が訪問を行っています。</p>	
<p>コロナ禍での母子健康手帳の郵送交付や電話での相談など臨機応変な対応は素晴らしい。一方、保育コンシェルジュについては素晴らしい事業だと評価しますが、もっと事業の周知に力を入れることも必要かと感じます。</p>	
<p>コロナ禍にあって、保護者の働き方、職場での困難が多々生じている中で、保育園等の果たす役割は大きいと感じている。</p>	

	<p>コロナウイルスの影響で、不安を抱えている妊婦さんがたくさんいて、例年以上に必要性を感じる事業だったと思います。コロナ禍によって、支援の方法を変える等の対応をしたことも良いと思いました。</p>
--	---

事業名	②地域子育て支援拠点事業
委員意見	<p>令和2年度は、コロナウイルス感染症が蔓延し、緊急事態宣言が発出されるなど特別な1年だったと思いますので、利用者を単純に比較することは意味のない事だと思えます。子育てに悩んだり不安を感じていたりする方々が気軽に相談できるよう、市民に広く認知される努力を今後もお願いします。</p>
	<p>感染症拡大が懸念される中での事業に相当の配慮が必要であったことと思ひ、工夫を重ねられたことと思ひ、その労に感謝申し上げます。大型商業施設などを利用した、誰もが気軽に立ち寄れる拠点づくりをこれからも進めていただきたいと思います。</p>
	<p>コロナの影響を大きく受けましたが、ネットの活用、質問箱の設置など、相談件数を増やす工夫をお願いします。</p>
	<p>【事務局より】 子育て支援センターにおいては従来から電話での相談を実施しており、コロナ禍で休館していた際には利用登録者にセンター職員が架電し、状況を伺う等の対応を行いました。インターネットの活用については、子育て支援センターにおいて対面での講座が実施できなかった際、オンラインで開催した実績があります。コロナ禍においても、利用したい人や相談したい人ができる限り利用できるよう運営の工夫を検討してまいります。</p>
	<p>親子が身近な地域で相談できる拠点としての役割が大きい。積極的に進めて欲しい。</p>
	<p>コロナ禍での交流は不安が高いと思われるが、こんな時期だからこそ、開いていることが非常に重要であると思ひます。引き続き感染症対策をしっかりと講じて、より充実した運営をお願いいたします。</p>
	<p>身近な支援センターはありがたい。参加者は少なくとも必要な施策。</p>
	<p>人数制限を設けてでも、利用できるような体制を整えて下さったことには大きな意味があったと思ひます。</p>
	<p>受け身だけでなく、自らがつながりを作って楽しく交流できる居場所が増えていけばいいと思う。「地域との連携」は、もっと具体的に知りたい。</p>
	<p>【事務局より】 「地域との連携」としては、近隣地域で活動しているボランティア団体による読み聞かせや、地域学生等を招いた職業体験等、各拠点で地域資源を掘り起こしながら進めています。今後も、地域の様々な団体と交流を図りながら、連携を進め、利用者とは交流していただけるような機会を増やしてまいります。</p>
	<p>予約制・定員制となり倍率が高かったのでしょうか。思い立ってふらりと立ち寄れるよさもあるので、コロナが収束に向かい気軽に利用できるようになることを願っています。</p>
	<p>コロナ禍で人数制限をしながらでもオープンして頂けたのは大変お母さん達にとっては良かったと思う。また、報告書には載っていないが4月からこどもの城がオープンし提供の場が増えたことで、人数制限があってもお母さん方は喜んでいる。</p>
<p>コロナ禍の中、不特定多数の利用者がいるこの事業の継続は評価できる。</p>	
<p>コロナ禍はいろいろな問題を発生させた。虐待等の増加もあり、ますます子育て支援の拠点事業は求められるものが多い。しかし、コロナがあっても十分な対応ができていないのではと危惧する。</p>	

事業名	③一時預かり事業
委員意見	<p>一時預かりの要請を受けた幼稚園や保育所は即対応ができるものなのでしょうか。人員の配置や予算などの整備を整え、利用者はもちろん預かる側も安心できる事業であって欲しいと思います。</p>
	<p>【事務局より】 一時預かり事業の実施にあたっては、施設が予め必要と見込んだ人員を配置し事業を実施しており、可能な範囲で直前の申し込みにも対応しておりますが、対応状況は施設により異なります。また、人員配置上1日あたりの受け入れ人数には限度があることから、お預かりできない場合もございます。市は今後も引き続き、事業実施に必要な支援を継続していきます。</p>
	<p>自粛により事業が計画より縮小したこと、安心安全を担保する努力が理解を得た結果であると思います。利用しやすい形をつくることも大切ですが、適正な利用を考えるための働きかけや、工夫を利用者と共に考えていけるとよいのではないのでしょうか。</p>
	<p>引き続きの支援をお願いします。</p>
	<p>実施施設への支援の充実を積極的に進めて。保護者にニーズの高い事業です。期待しています。</p>
	<p>昨年の4、5月に初めて緊急事態宣言が発令され、その中で不安を抱えながら一時預かりの確保に尽力した保育士、幼稚園教諭等に感謝します。保育園、幼稚園、預かり保育を行う立場として、今年6月頃から大和市在勤、在中の保育士の新型コロナウイルスのワクチン優先接種が行われました。遅れて、大和市在勤、在中の幼稚園教諭のワクチン優先接種が行われ、とてもありがたいことですが、優先順位が保育士が先、幼稚園教諭が後回しになったことに疑問を抱きました。</p>
	<p>【事務局より】 本市においては、市内の保育所・幼稚園に勤務する職員のうち希望する方に対して、接種会場の見込みが立った時点で順次優先的に接種券の送付を進め、概ね同時期に希望する方全員への接種を完了したものと捉えております。</p>
	<p>身近にある一時預かりは非常にありがたい。若い母親たちにもっと周知してほしいと思います。</p>
	<p>計画値を下回ることは特に悪いことではない。必要とする人がいる時に、受け入れてもらいやすい環境づくりは大切と思う。</p>
	<p>一時預かり事業は、子育てにとってとても必要なものです。ご近所さんのように気軽にお預けができる大和市はとてもすてきだと思います。コロナが落ち着くと需要は増えると思います。見込みは減らさず頑張ってください。</p>
<p>施設数は十分そうです。 急な需要の発生にも応じられるような柔軟な受入体制の確保をお願いします。</p>	
<p>コロナ禍により、一時的に利用者の減少はみられると思うが、必要性の高い大切な事業なので、事業の継続及び質向上に引き続き努力してほしい。</p>	
<p>コロナ禍で預かりに厳しい基準を設けたりすることが多くなり、十分対応できないことが多かった。こうした時期なので、親子関係が不安定になり必要とする人が利用できなかったのではないかと危惧する。どう対応するかは課題だと感じた。</p>	

事業名	④妊産婦・新生児等訪問事業
委員意見	産後健康診査によって支援産婦が洗い出せたのは成果だと思います。母子の生活上の課題を早期に発見できたことにより、問題が大きくなる前に支援の手が差し伸べられています。これからも出産間もない時期の女性を孤独にさせないよう丁寧に支援して下さることを望みます。
	どんな状況下にあっても、新しいのちが与えられたことを喜び、安心し、期待をもって出産・育児をすることができ、子育てを楽しむ思いを持つことができるように、今後の取り組みもまた期待します。
	妊産婦を孤立化・孤独化させずに育むこれらの事業は、これからの時代は更に重要になると思います。
	コロナ禍においての出産・育児について、不安・心配の多い妊婦に引き続き、きめ細かい支援を。
	コロナ禍の影響で自粛が続き、誰でも気分が沈みがちになります。訪問が厳しい状況では、オンラインでのサポート(産後ケア)などが一般化すれば、きめ細かい支援につながるのではないかと。
	【事務局より】 コロナ禍で訪問に抵抗がある世帯については、電話での状況確認や相談に応じています。オンラインでのサポートを含め、よりよい支援について、今後も検討してまいります。
	一番不安な時期の訪問産後ケアは非常にありがたい。今後とも、細かい対応をお願いしたい。
	コロナ禍だからこそ、アウトリーチの支援に力を入れたことは大きく評価できる点かと存じます。
	引き続き支援の充実に努めてほしい。
	私事ですが12月に出産を控えています。このような事業があり感謝の思いと共に安心感を感じます。お世話になるかと思いますが、よろしく願いいたします。
	産後のケアをきめ細かくして頂けると、次につながる生活が見えてきます。大和で産んでよかったと思えるように頑張ってください。
	早期に全戸訪問することにより、子どもの育児環境が理解でき、細かく丁寧な相談、指導がなされていると思います。様々な家庭があると思われませんが、あきらめずに繰り返し訪問し、子どもの成育を確認していただけるようお願いいたします。
	産後健康診査において、支援を要する産婦を191人も早期に把握、ケアにつなげることができたことはとても高く評価できる。今後、きめ細やかな支援をお願いいたします。
訪問することに抵抗があった世帯へは他の対策をとり、支援を行ったのでしょうか。	
【事務局より】 生後4か月までの間に、その時の新型コロナウイルス感染症の流行状況を見極めながら、複数回、電話で打診をしていますが、残念ながら受け入れてもらえない家庭がありました。そのような場合には、必要に応じて産後健康診査や1か月児健診の様子について、産科医療機関の協力を得て、状況の把握や不安への対応を図るとともに、4か月児健康診査においては全ての家庭の状況を確認しています。また、訪問には抵抗を示されるも、玄関先での対面や来庁される方もいらっしゃいました。	

事業名	⑤養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業
委員意見	<p>様々な理由により養育支援が必要なご家庭が増えています。専門家や経験豊かな方からのアドバイスは、苦しいご家庭の支えとなってくれていると思います。閉鎖的になりがちな家庭が社会とつながることの意味は大きいと思います。</p> <p>限られた要員の下で見込みをはるかに上回る実績を出されたことはご苦勞の連続であったことと推察いたします。業務にあたる職員が一層必要になるのではと考えます。温かな関係構築のためにも、組織体制をより充実させていただきたいと思います。</p> <p>養育支援が必要なケースは一部社会問題化しているので、迅速かつ有効な環境整備・取組みをお願いしたい。</p> <p>養育支援訪問家庭の増加により高い専門性を必要とする事業です。職員の質の向上を。</p> <p>無駄のない効率的な支援のためには各機関との連携は必要。情報の共有は必要。</p> <p>コロナ禍での虐待の増加などが、実績数の増加の背景にはあるのでしょうか。コロナ禍で親子が第三者とふれ合う機会が少なくなっている現在、アウトリーチの支援は非常に重要であり、実績として評価できるものかと思います。</p> <p>デリケートな問題だと思うが、引き続き支援を必要とする家庭の助けとなってほしい。</p> <p>支援を求める家庭の増加を感じ、今後も連携・継続を大切にして実施していただきたいと思いました。</p> <p>養育支援訪問は、今後数的には毎年増えていく事業です。さまざまなアプローチを仕掛けて頂き、見落としがない体制作りが行われてきている。</p> <p>係わったスタッフの延べ人数だけでなく、おおよその相談内容の傾向、扱ったケース数の増減を知りたいと思うのですが、記載は難しいでしょうか。</p> <p>【事務局より】 支援の実績については、要保護児童(虐待相談ケース)及び要支援児童(虐待以外の相談ケース)に対して、その年度に訪問支援を行った件数です。 直近3年のケース数(当該年度に受付したケース及び前年度からの継続ケースの合計)は次のとおりです。 ・要保護児童(虐待相談ケース) H30年度474件、R元年度460件、R2年度455件 ・要支援児童(虐待以外の相談ケース) H30年度290件、R元年度236件、R2年度230件 うち、要保護児童の相談受付件数は、年度により増減を繰り返していますが、R2年度は増加傾向が見られました。これは、主に心理的虐待の増加によるものです。 ・要保護児童の相談受付件数(当該年度に受付したケース) H30年度215件、R元年度211件、R2年度285件 相談傾向としては、令和2年度は保護者が精神的に不安定な家庭からの相談が増えており、保健師や心理相談員の訪問件数が増加しております。</p> <p>このような素晴らしい事業があることを、子どもに関わることの多い機関が知らないということがまだまだあるようです。関係機関への周知活動をお願いいたします。</p>

事業名	⑥ファミリーサポートセンター事業
委員意見	「地域で子どもを育てていく」という考え方を市民の多くに浸透していくよう広報活動等も積極的に行って欲しいと思います。
	利用内訳の変化などの確にとらえ、センター機能を果たされていることは利用者の安心感につながるのではないかと思います。利用者と支援者との調整のご苦労も多いかと思いますが、地域で支える基盤が充実するように願います。
	地域に潜在化するパブリックリソースを掘り起こし、結びつけ、人に優しい地域づくりにも通じる事業だと思います。
	周知の充実の積極的な取り組みを望みます。
	子育て世代は必要としているはず。若い世代へのネット等でのアピール、周知を。
	依頼に対して実際は何%程度、支援の提供ができていますでしょうか。
	【事務局より】 本事業は原則として全ての依頼に対応するよう利用調整を行っておりますが、発熱原因が不明な病児の預かり等やむを得ずご希望に添えなかった事例もあり、令和2年度においては7件でした。
	より多くの人たちに周知し、支援を継続できるように大和市としてサポートをお願いしたい。
	支援会員が少ないので、もっと周知していただく対策を検討したいと感じました。誰でもよいということではないので難しいところですが…。
	保育園の急激な増加に加え、コロナ生活、世の中の流れに伴い、変化をしていく事業ですね。
地域に密着した一番利用しやすい子育てサービスと思われませんが、支援会員が少ないのが心配です。支援会員に対する行政による後方支援が必要とされているのではないのでしょうか。	
多様な利用者のニーズにこたえながら、事業を継続していることは大変素晴らしい。支援会員の確保をし、今後も頑張りたい。	

事業名	⑧延長保育事業
委員意見	保護者の就労条件や通勤時間によって利用できる延長保育事業は便利だと思います。一方で、延長保育に係る人や費用についても十分に確保されているかの点検もお願いします。
	コロナの影響を大きく受けましたが、一定のニーズは見込まれるので、引き続きの支援をお願いします。
	共働き家庭を支える重要な事業です。今後の維持・拡充を期待します。
	保護者のニーズに細かく対応できるシステムは素晴らしい。コロナ禍後の対応強化を。
	安心して就労できるよう引き続き環境整備に努めてほしい。
	延長保育はコロナ禍なので減少ですが、世の中が落ち着いてくるとまた需要が見込まれる事業だと思います。環境は整えておいてほしい。
	コロナ禍における事業実施、高く評価できる。今後も期待しています。

事業名	⑨病児保育事業
委員意見	<p>女性の就労が増加していく中で、子どもが体調不良になった時に頼れる施設が3か所あるという事は心強いことです。令和2年度は平時とは違った1年でしたので利用者が大幅に減少していますが、ニーズは多いはずで、広報活動に努めてください。</p>
	<p>この事業をリスクを覚悟つつあたってくださいに感謝します。 また、病気の子どもの預けて仕事に出なければならない厳しさと、病気の子どもの預けなければならない状況の板挟みになる保護者の方の心のサポートを一層大切にされますように願います。</p>
	<p>コロナの影響を大きく受けましたが、一定のニーズは見込まれるので、引き続きの支援をお願いします。</p>
	<p>共働き家庭を支える重要な事業です。今後の維持・拡充を期待します。</p>
	<p>このシステムがあることがすばらしい。ぜひ継続を。コロナ禍後の対応強化を。</p>
	<p>引き続き周知に努め、親にとっても子にとっても安心できる環境整備をお願いしたい。</p>
	<p>病児保育事業は継続が必要であるかどうかをもう一度考え直す場面ではないかと思われる。</p>
	<p>病児保育は子育て家庭に必要な不可欠な社会資源のひとつになって来ていますが、経営的に存続が危ぶまれるケースが出てきているようです。大和市の3施設は、それぞれ委託事業者が運営、クリニック併設型、民間独立型と運営母体が異なりますが、質の高い保育が継続出来るように運営管理の支援をお願いします。</p>
<p>大幅に計画数値と実績が異なってしまうが、コロナウイルス感染症の影響が大きいことは理解できる。また、コロナ禍での事業実施は、本当に大変なことだったでしょう。事業の総括及び今後の方向性に事業内容について検討を続けてまいりますとあるが、現時点で考えられる変更点などはあるのかどのように検討していきたいのか知りたい。</p> <p>【事務局より】 令和3年度の病児保育利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前となる令和元年度の利用者数の水準に戻りつつあり、令和2年度に比べて大幅に増加していることから、利用ニーズは一定して存在しているものと捉えております。こうした状況を踏まえ、当面は事業内容の大きな変更は予定しておりませんが、引き続き、各施設における事業実施状況等を見守っていく必要があると考えています。</p>	

事業名	⑩放課後児童クラブ事業
委員意見	<p>児童の安全を担保する点において、重要な事業だと思います。一方で、支援員さんの負担は大きいように思います。また、入会自動に対して居所が狭いことは大きな課題です。余裕教室ありきの事業概要となっていますが、余裕教室がない学校もいくつかあります。更に、令和2年度は特別だと分かっていますが、休校の時に教員が児童クラブを手伝うよう要請がありました、その対応にも課題があると思います。一考をお願いします。</p> <p>【事務局より】 放課後児童クラブの運営については、放課後の特別教室等の借用など小学校内への整備を基本として、教育委員会及び各学校等と調整を図っております。学校における教室不足の懸念につきましては、地域の状況に合わせ、民営児童クラブの活用を含め、受け入れ方法について検討を行い、入会を希望する全ての児童の受け入れが可能となるよう努めてまいります。また、入会児童数の推移を注視しつつ、入会児童数の増加傾向が顕著である小学校区につきましては、施設の整備も含めて検討してまいります。</p> <p>一斉臨時休業期間中につきましては、国と県から継続運営とともに午前からの開所を求められました。休業期間が長期に渡ったことで、児童クラブの運営に影響がでる恐れがあったことから、やむを得ず、令和2年3月2日付で国から依頼のあった「放課後児童クラブの業務に教職員が携わることによる子どもの居場所の確保」に基づき教職員の協力を依頼したものです。今後、同様の事案が発生する場合には、教育委員会や学校と詳細に調整を行い、対応してまいります。</p> <p>社会環境の変化著しい中、学年が上がるに従い利用者が少なくなることをどうとらえるのか気になります。成長してきた子ども自身が一つ所にいることが次第に難しいことも理解できますが、人の目が届かないところがあることをどうとらえていくか気になります。</p> <p>【事務局より】 学年が上がるに従い、塾や習い事に通う子や自宅での留守番ができる子、自由に友達と遊びたいと思う子などが多くなることから、児童クラブの利用者が少なくなる傾向にあるものと捉えております。放課後の児童の居場所については、放課後児童クラブ以外にも、放課後子ども教室や児童館などの事業において提供を行っておりますので、発達段階や児童、家庭のニーズに応じて、各家庭で適切な居場所を選択していただきたいと考えております。</p> <p>長く継続している良い事業なので更なるご支援をお願いします。</p> <p>今後の維持・拡充を期待します。</p> <p>関係部署との連携はぜひより密にしていきたい。過去の委員会の意見がよく反映されていて、すばらしい。</p> <p>学童保育への心理の専門職の巡回訪問のニーズは高いものと思われ、臨床心理士や保育士の追加の配置は、すべての子どもたちが安心して過ごすうえで意義のある取り組みだと思います。</p> <p>学校も児童数増加に伴い空き教室がなかなか確保できなかったり、民営児童クラブも学校から距離があり大変…ということを目にしました。数もですが、場所の確保なども要検討だと感じます。</p> <p>全体的に子どもたちの人数の減少があるが、共働き家庭が増加により児童クラブの需要が年々増している中、人数過不足なしで推移しているのは素晴らしい。</p> <p>2015年から待機児童ゼロを続けていることは、大変素晴らしく高く評価できる。保育の質の向上には、今後も継続的な努力に期待しています。また、臨床心理士等の専門の方の児童クラブ巡回訪問は、とても素晴らしい取り組み。今後も、巡回訪問の回数や時間を増やす等、充実を期待しています。</p>

事業名	①妊婦健康診査
委員意見	<p>妊婦は妊娠中毒症をはじめ、様々な危険性を抱えますので、健診を受けることで軽症で済んだり予防になったりすると思います。検査費用の一部を助成してもらえれば健診の推進にもつながると思います。</p> <p>長く継続している良い事業なので更なるご支援をお願いします。</p> <p>妊婦の健康の保持のため、引き続き事業の維持・拡充を期待します。</p> <p>出生率の向上は望めないと思われませんが、受診率95.5%は素晴らしい。行政と市民の意識の高さは素晴らしい。</p> <p>大和市ではコロナ禍での妊婦さんに対する悲しい事例が起きないように、きめ細かな丁寧な対応をお願いしたい。</p> <p>ありがとうございます。産後の支援もぜひお願いしたいです。</p> <p>妊婦の健康診断についてはメンタル的な項目もほしい。一番は受診にあたり費用が助成されることを願う。</p>

その他意見	<p>10月14日(木)新聞報道—不登校と自殺最多(小中高)に心を痛めました。コロナ禍、休校の影響は大！！これからが大事だと思います。地域で微力ながらがんばりたいと思っております。</p>
-------	--